

平成 28 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	総合国語	担当教員	堅田陽子（非常勤）		
学年学科	3年 M・C・A学科	通年	必修	2単位	
学習・教育目標	(A-1) 20% (C-1) 80%				
授業の目標と期待される効果： 第2学年までの学習成果をふまえ、さらに国語の学習を発展させる。具体的には、以下の能力の育成を目標とする。 ① 漢字や語句の知識を増やす。 ② 文脈の中から語句の意味を読解する。 ③ 論理の展開を理解する。 ④ 要旨を正確に把握し、文章を要約する。 ⑤ 文章の背景となる社会や文化について関心を深める。 ⑥ 適切な日本語で自分自身の考えを表現する。		成績評価の方法： 前期：中間試験 100 点＋期末試験 100 点＋課題・小テスト 100 点 後期：中間試験 100 点＋期末試験 100 点＋課題・小テスト 100 点 学年：前・後期の重みを等しくして合計した上で、得点率 (%) で成績評価を行う。 達成度評価の基準： 教科書レベルでの授業内容の理解について、以下の項目に関する試験や課題を課し、それぞれに対して 6 割以上の正答レベルまで達していること。 ① 漢字や語句の知識が身についたか。 ② 論理の展開を理解し、文章の内容を要約できたか。 ③ 日本の社会や文化についての関心は深まったか。 ④ 適切な日本語で表現をすることができたか。			
授業の進め方とアドバイス： 授業は、教科書と板書を中心に行うので、各自学習ノートを充実させること。 授業中に出される課題には真剣に取り組むこと。 参考となる資料については、授業中に適宜紹介するので、各自で参照すること。					
教科書および参考書： 高等学校標準現代文 B（東郷克美他・第一学習社 2014 年） <div style="text-align: right;">他に辞書等</div>					
授業の概要と予定：前期					AL のレベル
第 1 回：随想（1）					
第 2 回：随想（2）					
第 3 回：随想（3）					
第 4 回：小説（1）					
第 5 回：小説（2）					
第 6 回：小説（3）					
第 7 回：評論（1）					
第 8 回：中間試験					
第 9 回：評論（2）					
第 10 回：評論（3）					
第 11 回：詩（1）					
第 12 回：詩（2）					
第 13 回：詩（3）					
第 14 回：評論（4）					
期末試験					
第 15 回：評論（5）					

授業の概要と予定：後期	ALのレベル
第16回：評論（6）	
第17回：小説（4）	
第18回：小説（5）	
第19回：小説（6）	
第20回：短歌・俳句（1）	
第21回：短歌・俳句（2）	
第22回：短歌・俳句（3）	
第23回：中間試験	
第24回：評論（7）	
第25回：評論（8）	
第26回：評論（9）	
第27回：小説（7）	
第28回：小説（8）	
第29回：小説（9）	
期末試験	
第30回：まとめ	

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 （優）	標準的な到達 レベルの目安 （良）	未到達 レベルの目安 （不可）
①	漢字・語句に関する問題をほぼ正確(8割以上)に解くことができる。	漢字・語句に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	漢字・語句に関する問題を解くことができない。
②	論理展開の理解・要約に関する問題をほぼ正確(8割以上)に解くことができる。	論理展開の理解・要約に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	論理展開の理解・要約に関する問題を解くことができない。
③	日本の社会や文化に関する問題をほぼ正確(8割以上)に解くことができる。	日本の社会や文化に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	日本の社会や文化に関する問題を解くことができない。
④	適切な日本語による表現をほぼ正確(8割以上)に行なうことができる。	適切な日本語による表現をほぼ正確(6割以上)に行なうことができる。	適切な日本語による表現をほぼ正確に行なうことができない。